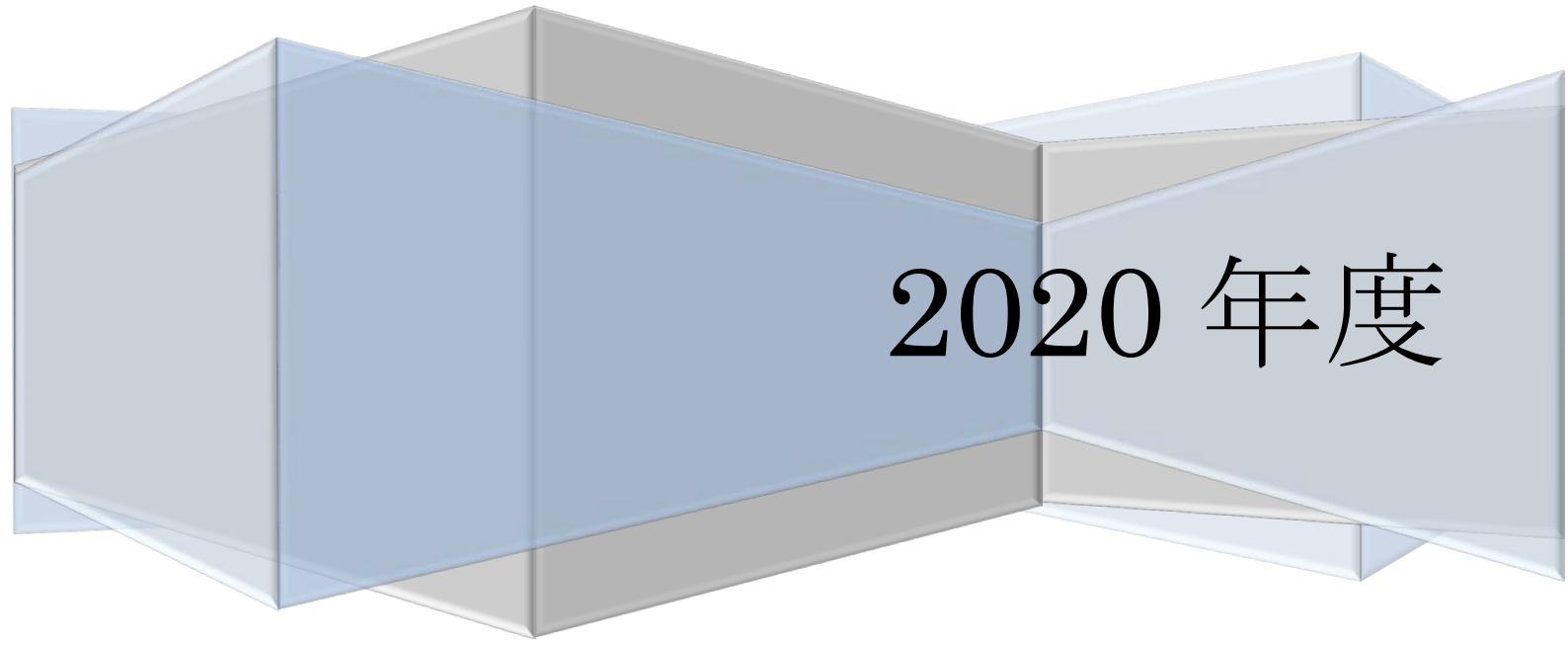


医療法人 高幡会 大西病院

# 日本慢性期医療協会統計



2020 年度

---

---

# 令和2年度 日本慢性期医療協会統計 目次

---

---

- 1.職員のインフルエンザワクチンの接種率
- 2.入院時医療区分の3ヶ月後の改善率
- 3.肺炎の新規発生率
- 4.肺炎の治癒率
- 5.尿路感染症の新規発生率
- 6.尿路感染症の治癒率
- 7.入院時、尿道カテーテルが留置されている患者1ヶ月後の抜去率
- 8.糖尿病患者における血糖コントロール(HbA1c)
- 9.降圧剤使用患者における血圧コントロール
- 10.内服薬定期処方の見直しの平均頻度
- 11.注射薬処方の見直しの平均頻度
- 12.内服定期薬の平均処方薬剤数
- 13.新規褥瘡発生率
- 14.褥瘡の治癒率(治療後6カ月以内)
- 15.認知症患者への対応
- 16.休日を含め適切な頻度でリハビリテーションが提供されているか
- 17.十分な時間のリハビリテーションが提供されているか
- 18.多職種(リハビリ以外の職種も含めて)によるカンファレンス等にて、  
リハビリテーションの内容、頻度が検討されているか
- 19.FIM and/or BI等の客観的指標で患者のADL状態  
が把握されているか
- 20.全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率
- 21.起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率
- 22.低栄養の改善率
- 23.1年以内に経管栄養(中心静脈・胃ろう・経鼻)から  
経口摂取可能になった患者の割合
- 24.1ヶ月以内に経管栄養(中心静脈・胃ろう・経鼻)から  
少しでも経口摂取が可能となった患者の割合(1口でも可)
- 25.転倒・転落などによる重症事故の発生率
- 26.入院患者のうち急性期病院からの新規紹介入院患者数(紹介率)
- 27.在宅からの新規入院患者数(居宅系施設等を含む)
- 28.在宅復帰率(居住系施設等を含む)
- 29.多職種による退院カンファレンスを実施しているか

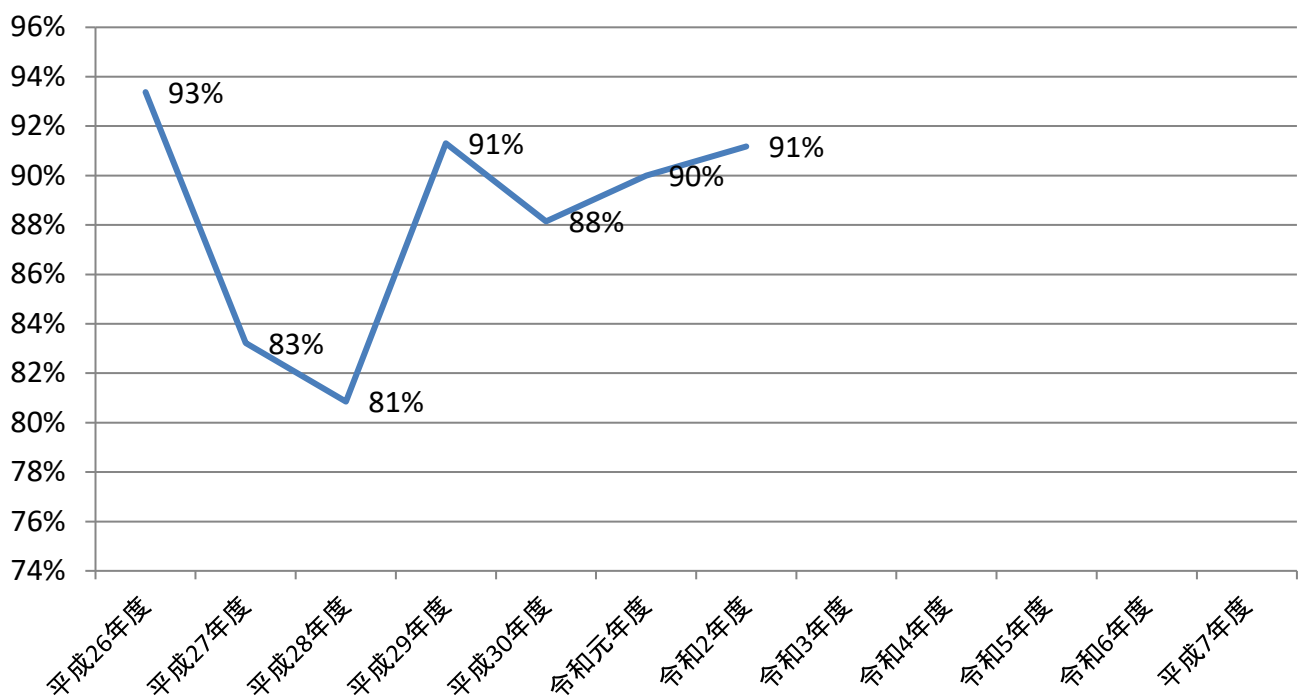
# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

## 職員のインフルエンザワクチンの接種率

ワクチン接種率 = C(自院内にてインフルエンザワクチンを接種した職員数) /  
B(ワクチン接種最終日の職員数) × 100

年度	ワクチン接種最終日の職員数(人)	自院内にてインフルエンザワクチンを接種した職員数(人)	職員のインフルエンザワクチンの接種率(%)
平成26年度	151	141	93%
平成27年度	149	124	83%
平成28年度	141	114	81%
平成29年度	138	126	91%
平成30年度	135	119	88%
令和元年度	130	117	90%
令和2年度	136	124	91%
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
平成7年度			
合計/平均	980	865	88%

### 職員のインフルエンザワクチンの接種率(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator (病棟臨床指標)

**【注】**

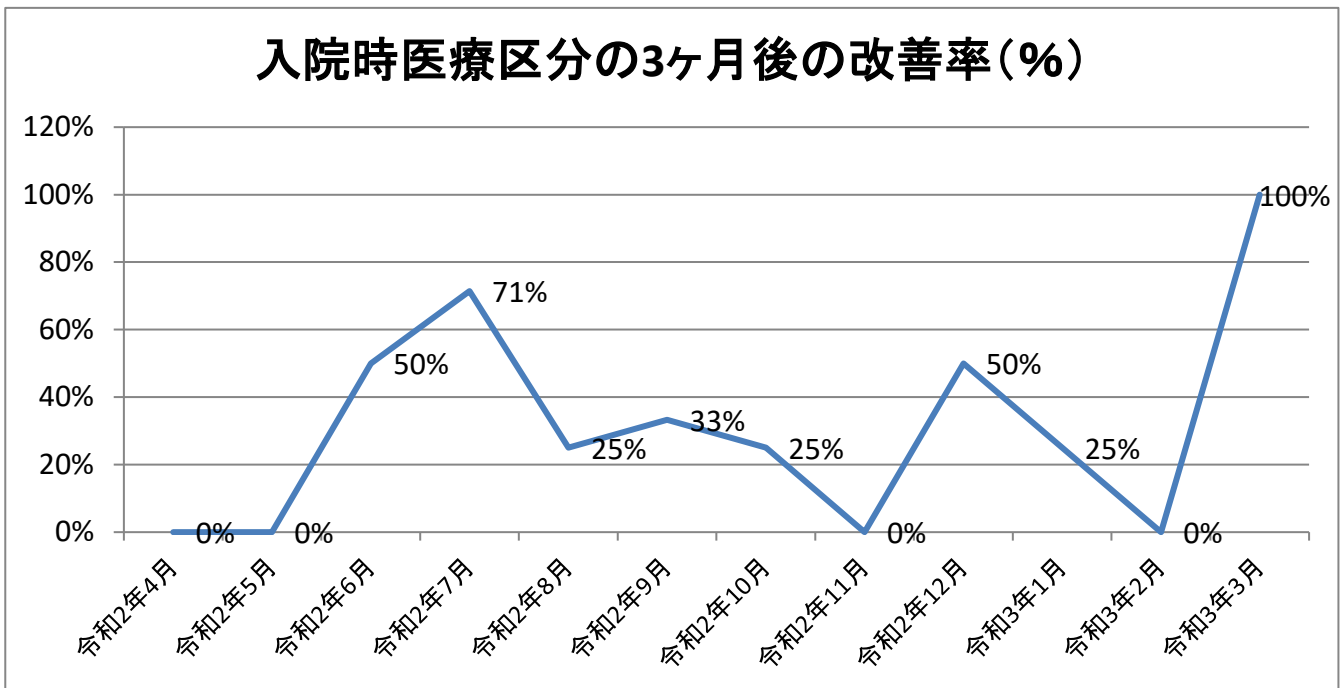
1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-1-1

### 入院時医療区分の3ヶ月後の改善率 (算定期間に限りのない区分の患者は除く)

入院時医療区分の3ヶ月後の改善率 =  $C(\text{医療区分の改善した患者数}) / B(\text{医療区分の変化(改善+悪化)患者数}) \times 100$

令和2年度	医療区分の変化した(改善+悪化)患者数(人)	医療区分の改善した患者数(人)	入院時医療区分の3ヶ月後の改善率(%)
令和2年4月	2	0	0%
令和2年5月	5	0	0%
令和2年6月	2	1	50%
令和2年7月	7	5	71%
令和2年8月	4	1	25%
令和2年9月	3	1	33%
令和2年10月	4	1	25%
令和2年11月	3	0	0%
令和2年12月	2	1	50%
令和3年1月	4	1	25%
令和3年2月	3	0	0%
令和3年3月	1	1	100%
合計/平均	40	12	30%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

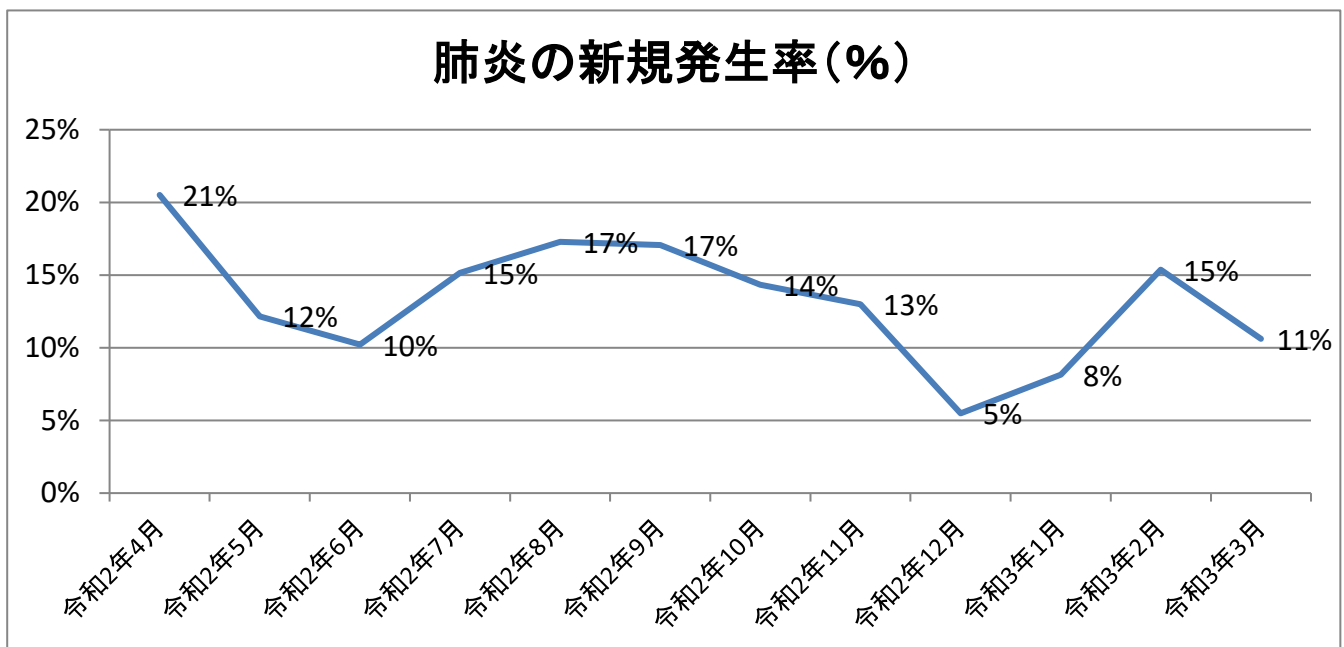
## 2-1-2

### 肺炎の新規発生率

（肺炎治療目的の入院は除く。初発・再発は問わない）

肺炎の新規発生率 = C(1ヶ月あたりの肺炎新規発生患者数) /  
B(1日あたりの平均入院患者数) × 100

令和2年度	1日あたりの平均入院患者数(人) (医療)	1ヶ月あたりの肺炎新規発生患者数(人)	肺炎の新規発生率(%)
令和2年4月	39	8	21%
令和2年5月	41	5	12%
令和2年6月	39	4	10%
令和2年7月	40	6	15%
令和2年8月	41	7	17%
令和2年9月	41	7	17%
令和2年10月	42	6	14%
令和2年11月	39	5	13%
令和2年12月	36	2	5%
令和3年1月	37	3	8%
令和3年2月	39	6	15%
令和3年3月	38	4	11%
合計/平均	39	5	13%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

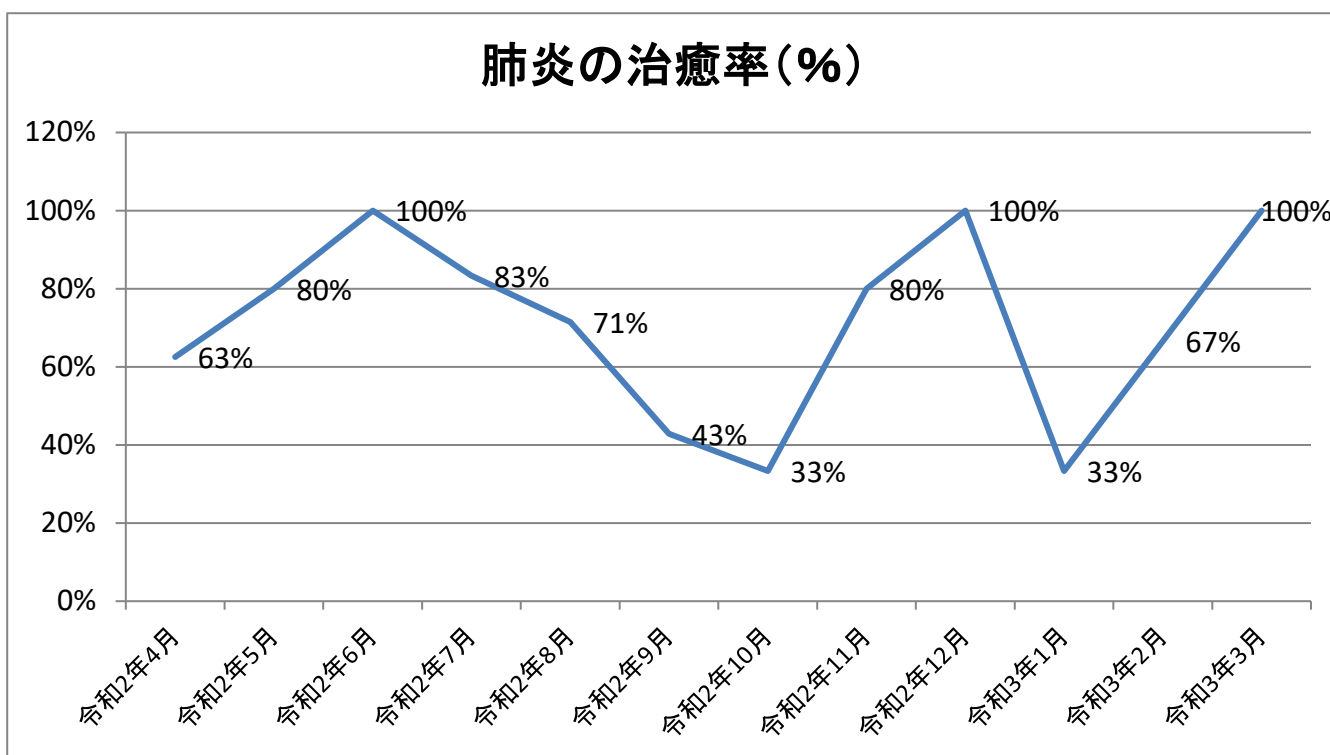
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-1-3

### 肺炎の治癒率

肺炎の治癒率 = C(1ヶ月あたりの肺炎の治癒が確認された患者数) /  
B(1ヶ月あたりの肺炎の治療を実施した患者数) × 100

令和2年度	1ヶ月あたりの肺炎の治療を実施した患者数(人)	1ヶ月あたりの肺炎の治癒が確認された患者数(人)	肺炎の治癒率(%)
令和2年4月	8	5	63%
令和2年5月	5	4	80%
令和2年6月	4	4	100%
令和2年7月	6	5	83%
令和2年8月	7	5	71%
令和2年9月	7	3	43%
令和2年10月	6	2	33%
令和2年11月	5	4	80%
令和2年12月	2	2	100%
令和3年1月	3	1	33%
令和3年2月	6	4	67%
令和3年3月	4	4	100%
合計/平均	5.25	3.58	68%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

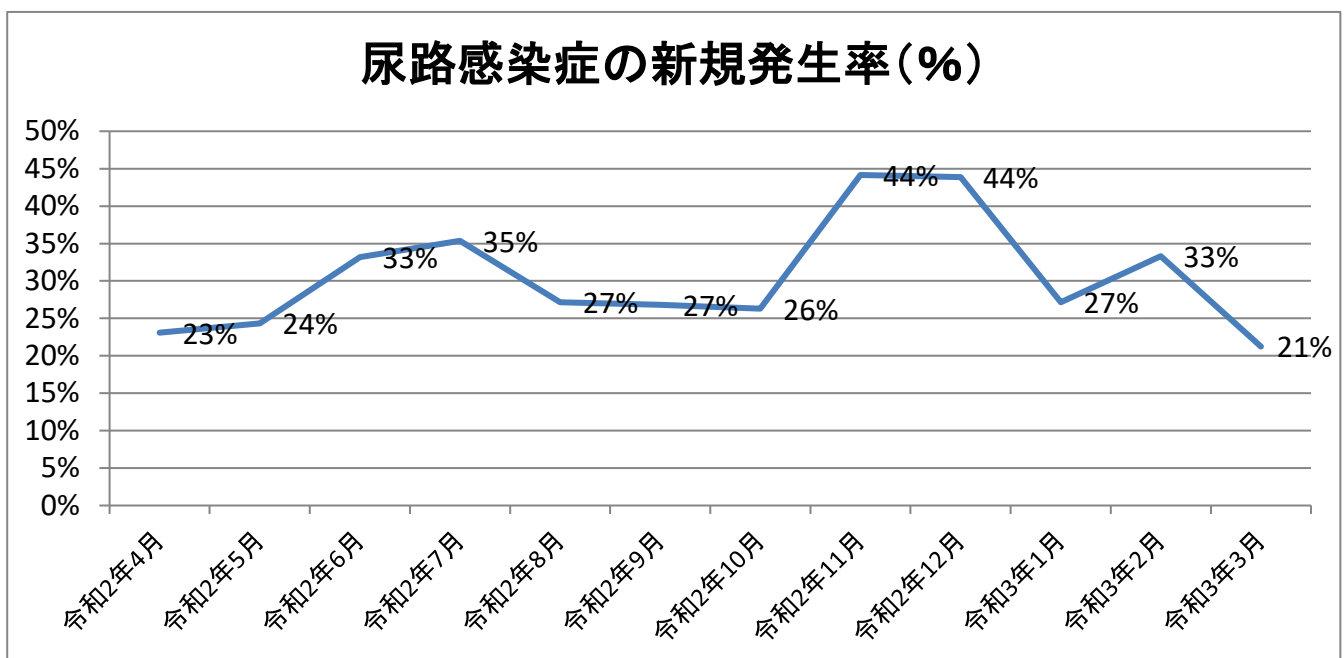
## 2-1-4

### 尿路感染症の新規発生率

（尿路感染症治療目的の入院は除く。初発・再発は問わない）

尿路感染症の新規発生率 = C(1ヶ月あたりの尿路感染症新規発生患者数) /  
B(1日あたりの平均入院患者数) × 100

令和2年度	1日あたりの平均入院患者数(人) (医療)	1ヶ月あたりの尿路感染症新規発生患者数(人)	尿路感染症の新規発生率(%)
令和2年4月	39	9	23%
令和2年5月	41	10	24%
令和2年6月	39	13	33%
令和2年7月	40	14	35%
令和2年8月	41	11	27%
令和2年9月	41	11	27%
令和2年10月	42	11	26%
令和2年11月	39	17	44%
令和2年12月	36	16	44%
令和3年1月	37	10	27%
令和3年2月	39	13	33%
令和3年3月	38	8	21%
合計/平均	39	12	30%



# 日本慢性期医療協会

## 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

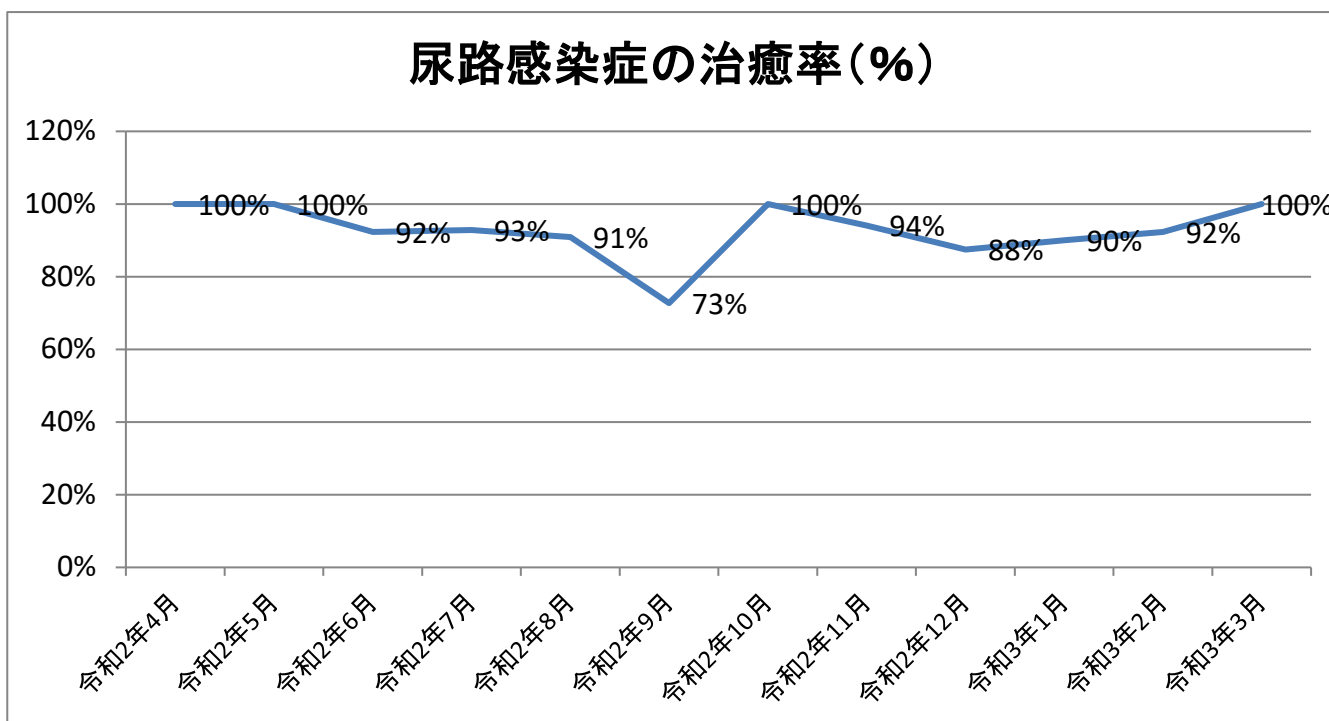
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

### 2-1-5

#### 尿路感染症の治癒率

尿路感染症の治癒率 = C(尿路感染症の治癒が確認された患者数) / B(尿路感染症の治療を実施した患者数) × 100

令和2年度	尿路感染症の治療を実施した患者数(人)	尿路感染症の治癒が確認された患者数(人)	尿路感染症の治癒率(%)
令和2年4月	9	9	100%
令和2年5月	10	10	100%
令和2年6月	13	12	92%
令和2年7月	14	13	93%
令和2年8月	11	10	91%
令和2年9月	11	8	73%
令和2年10月	11	11	100%
令和2年11月	17	16	94%
令和2年12月	16	14	88%
令和3年1月	10	9	90%
令和3年2月	13	12	92%
令和3年3月	8	8	100%
合計/平均	143	132	92%





# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

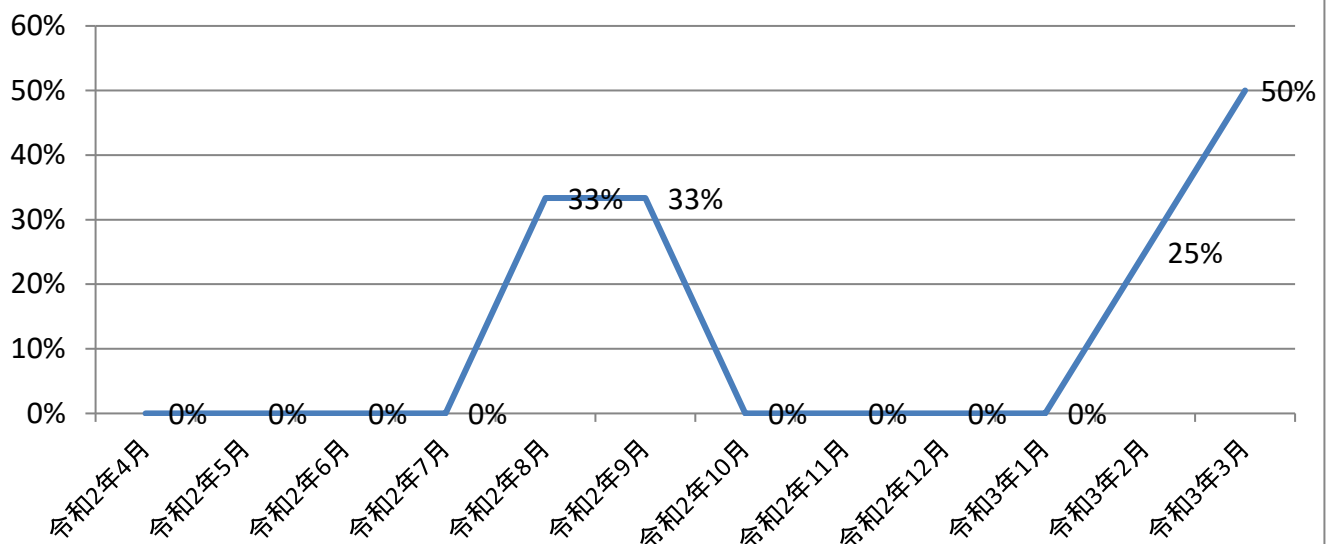
## 2-1-6

### 入院時、尿道カテーテルが留置されている患者1ヶ月後の抜去率

尿カテ1ヶ月後抜去率 =  $C$  (1ヶ月後に尿道カテーテルが抜去されている患者数) /  $B$  (入院時尿道カテーテルが留置されていた患者数) × 100

令和2年度	入院時尿道カテーテルが留置されていた患者数 (人)	1ヶ月後に尿道カテーテルが抜去されている患者数 (人)	入院時、尿道カテーテルが留置されている患者の1ヶ月後の抜去率 (%)
令和2年4月	5	0	0%
令和2年5月	3	0	0%
令和2年6月	2	0	0%
令和2年7月	4	0	0%
令和2年8月	3	1	33%
令和2年9月	3	1	33%
令和2年10月	1	0	0%
令和2年11月	2	0	0%
令和2年12月	2	0	0%
令和3年1月	4	0	0%
令和3年2月	4	1	25%
令和3年3月	2	1	50%
合計/平均	35	4	11%

**入院時、尿道カテーテルが留置されている患者の1ヶ月後の抜去率 (%)**



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

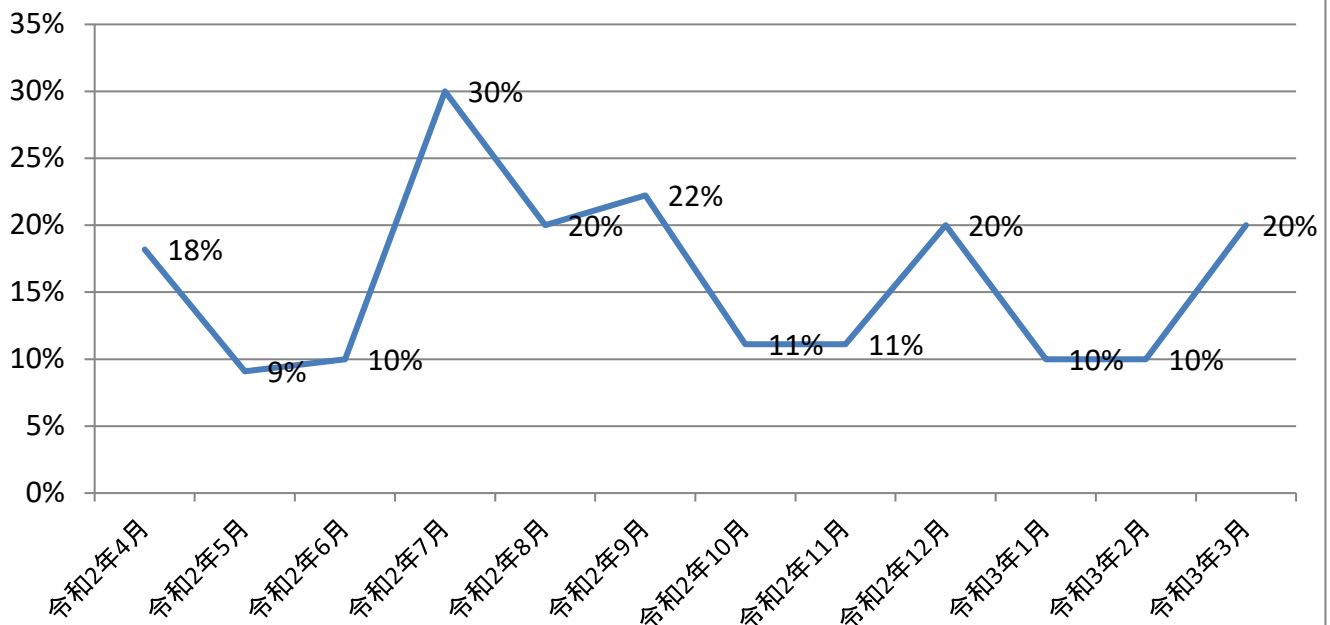
## 2-1-8

### 糖尿病患者における血糖コントロール(HbA1c)

血糖コントロール率 = C (HbA1cのコントロール目標が達成されている患者数) /  
B (インスリン製剤または経口血糖降下剤を処方されている患者数) × 100

令和2年度	インスリン製剤または経口血糖降下剤を処方されている患者数(人)	HbA1cのコントロール目標が達成されている患者数(人)	糖尿病患者における血糖コントロール率(%)
令和2年4月	11	2	18%
令和2年5月	11	1	9%
令和2年6月	10	1	10%
令和2年7月	10	3	30%
令和2年8月	10	2	20%
令和2年9月	9	2	22%
令和2年10月	9	1	11%
令和2年11月	9	1	11%
令和2年12月	10	2	20%
令和3年1月	10	1	10%
令和3年2月	10	1	10%
令和3年3月	10	2	20%
合計/平均	119	19	16%

### 糖尿病患者における血糖コントロール率(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

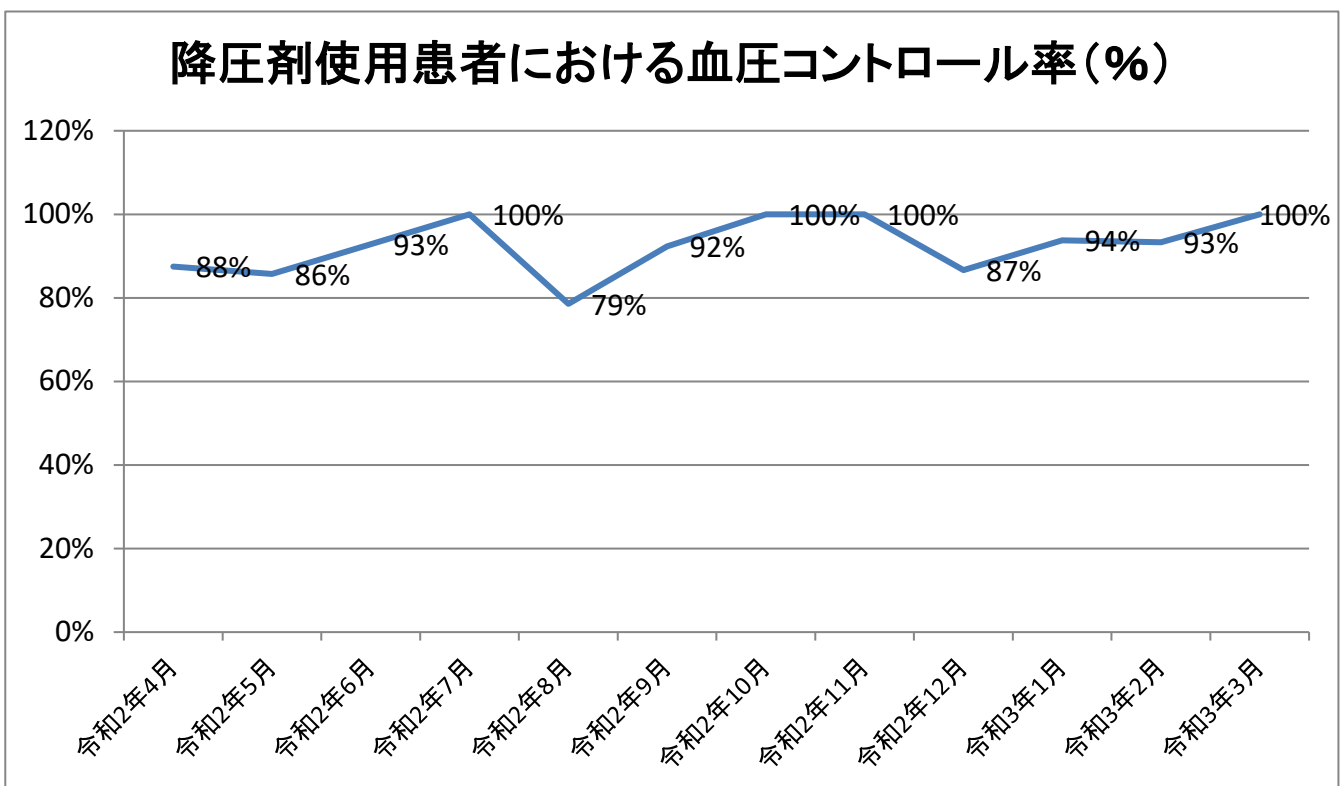
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-1-9

### 降圧剤使用患者における血圧コントロール

血圧コントロール患者数 = C(血圧が目標値以下の患者数) /  
B(降圧剤が処方されている患者数) × 100

令和2年度	降圧剤が処方されている患者数(人)	血圧が目標値以下の患者数(人)	降圧剤使用患者における血圧コントロール率(%)
令和2年4月	16	14	88%
令和2年5月	14	12	86%
令和2年6月	14	13	93%
令和2年7月	16	16	100%
令和2年8月	14	11	79%
令和2年9月	13	12	92%
令和2年10月	13	13	100%
令和2年11月	11	11	100%
令和2年12月	15	13	87%
令和3年1月	16	15	94%
令和3年2月	15	14	93%
令和3年3月	15	15	100%
合計/平均	172	159	93%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-2-1

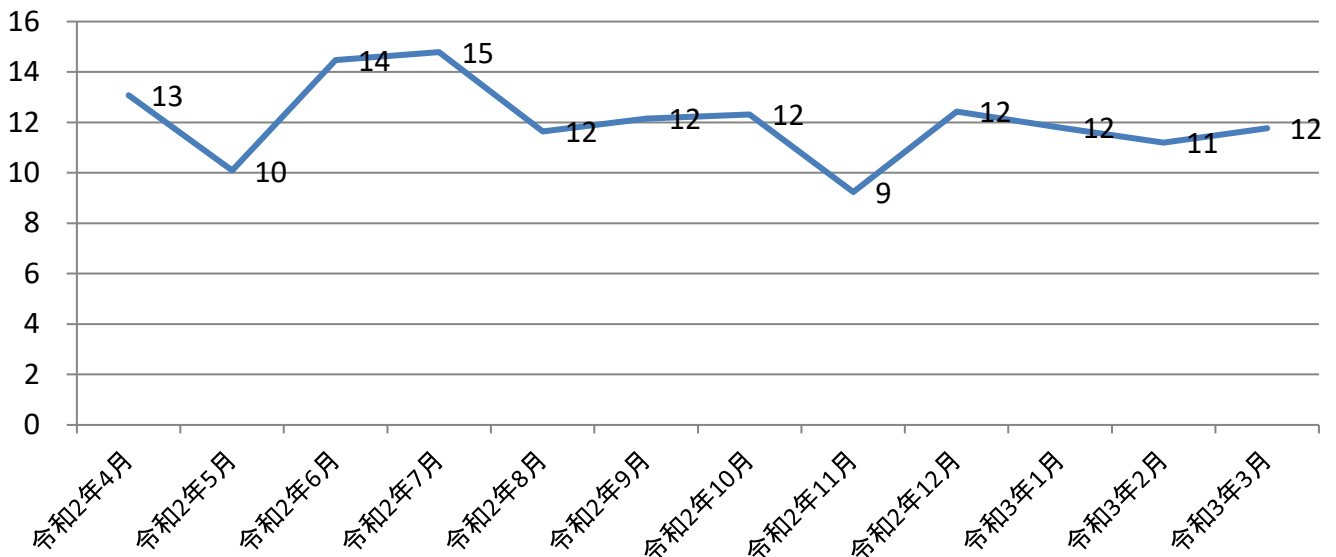
### 内服薬定期処方の見直しの平均頻度

1ヶ月間の患者1人あたり処方箋枚数 = C(1カ月間の内服定期薬処方箋枚数) / B(内服定期薬投与患者数)

見直しの頻度(日) = D(1カ月の日数(日)) / E(1ヶ月の患者1人あたり処方箋枚数)

令和2年度	内服定期薬投与患者数(人)	1カ月間の内服定期薬処方箋枚数(枚)	一カ月の日数(日)	1ヶ月間の患者1人あたり処方箋枚数(枚)	内服薬定期処方の見直しの平均頻度(日)
令和2年4月	78	179	30	2	13
令和2年5月	82	252	31	3	10
令和2年6月	82	170	30	2	14
令和2年7月	83	174	31	2	15
令和2年8月	77	205	31	3	12
令和2年9月	81	200	30	2	12
令和2年10月	87	219	31	3	12
令和2年11月	93	302	30	3	9
令和2年12月	83	207	31	2	12
令和3年1月	78	205	31	3	12
令和3年2月	78	195	28	3	11
令和3年3月	71	187	31	3	12
合計/平均	973	2495	365	31	12

### 内服薬定期処方の見直しの平均頻度(日)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

## 【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-2-2

### 注射薬処方の見直しの平均頻度

1週間の患者1人あたり処方箋枚数 = C(1週間の注射薬処方箋枚数) / B(注射薬投与患者数)

見直しの頻度(日) = D(1週間の日数(日)) / E(1週間の患者1人あたり処方箋枚数)

令和2年度	注射薬投与患者数(人)	1週間の注射薬処方箋枚数(枚)	一週間の日数(日)	1週間の患者1人あたり処方箋枚数(枚)	注射薬処方の見直しの平均頻度(日)
1週間	25	277	7	12	1

同一注射薬が1日複数回処方のある場合は、「1」でカウントする。

定期注射薬が2本以上ある場合も、1週間として、「1」でカウントする。

注射処方箋がない場合は、指示出し数で計算する。

# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator (病棟臨床指標)

## 【注】

1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-2-3

### 内服定期薬の平均処方薬剤数

内服定期薬の平均処方薬剤数 =  $C(1週間の内服定期薬の投与薬剤数合計) / B(1週間の内服定期投与延べ患者数)$

令和2年度	1週間の内服定期投与延べ患者数(人)	1週間の内服定期薬の投与薬剤数合計(剤)	内服定期薬の平均処方薬剤数(剤)
1週間	256	2918	12.000

# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

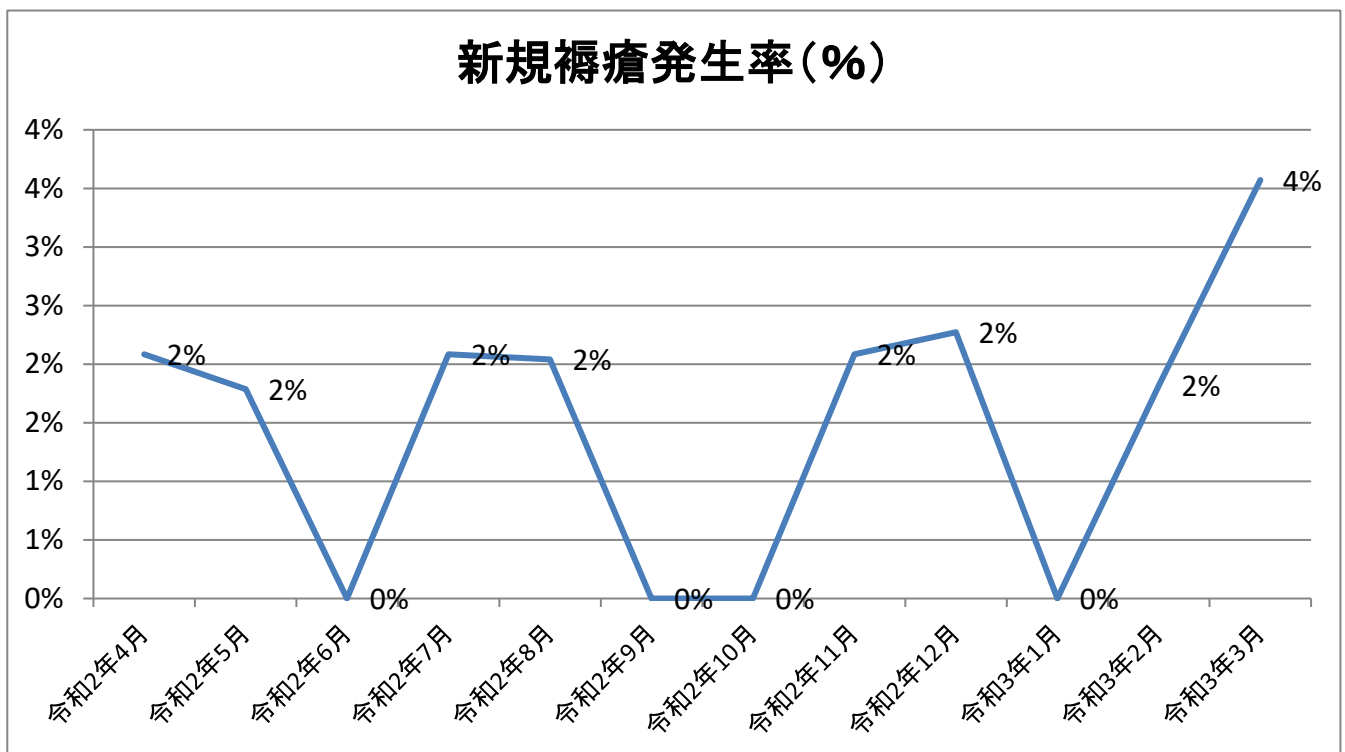
1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-3-4

### 新規褥瘡発生率

新規褥瘡発生率 =  $C(\text{分母のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数}) / B(\text{調査月の新入院患者数} + \text{当月1日現在患者数}) \times 100$

令和2年度	調査月の新入院患者数 + 当月1日現在患者数	分母のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数(人)	新規褥瘡発生率(%)
令和2年4月	48	1	2%
令和2年5月	56	1	2%
令和2年6月	53	0	0%
令和2年7月	48	1	2%
令和2年8月	49	1	2%
令和2年9月	53	0	0%
令和2年10月	55	0	0%
令和2年11月	48	1	2%
令和2年12月	44	1	2%
令和3年1月	46	0	0%
令和3年2月	55	1	2%
令和3年3月	56	2	4%
年間平均	51	0.75	1%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

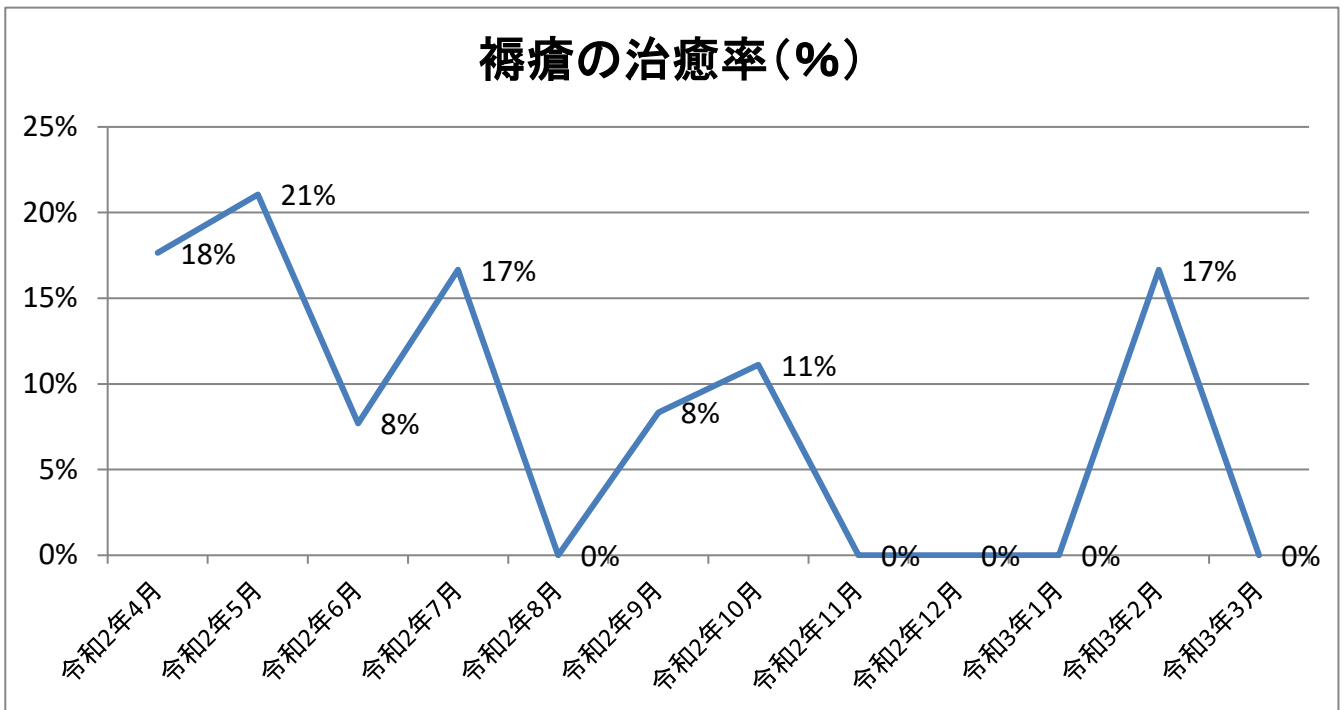
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-3-5

### 褥瘡の治癒率（治療後6カ月以内）

褥瘡の治癒率 = C（治癒患者数）/ B（全褥瘡患者数） × 100

令和2年度	全褥瘡患者数(人)	治癒患者数(人)	褥瘡の治癒率(%)
令和2年4月	17	3	18%
令和2年5月	19	4	21%
令和2年6月	13	1	8%
令和2年7月	12	2	17%
令和2年8月	11	0	0%
令和2年9月	12	1	8%
令和2年10月	9	1	11%
令和2年11月	11	0	0%
令和2年12月	11	0	0%
令和3年1月	10	0	0%
令和3年2月	12	2	17%
令和3年3月	14	0	0%
合計/平均	151	14	9%





# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator (病棟臨床指標)

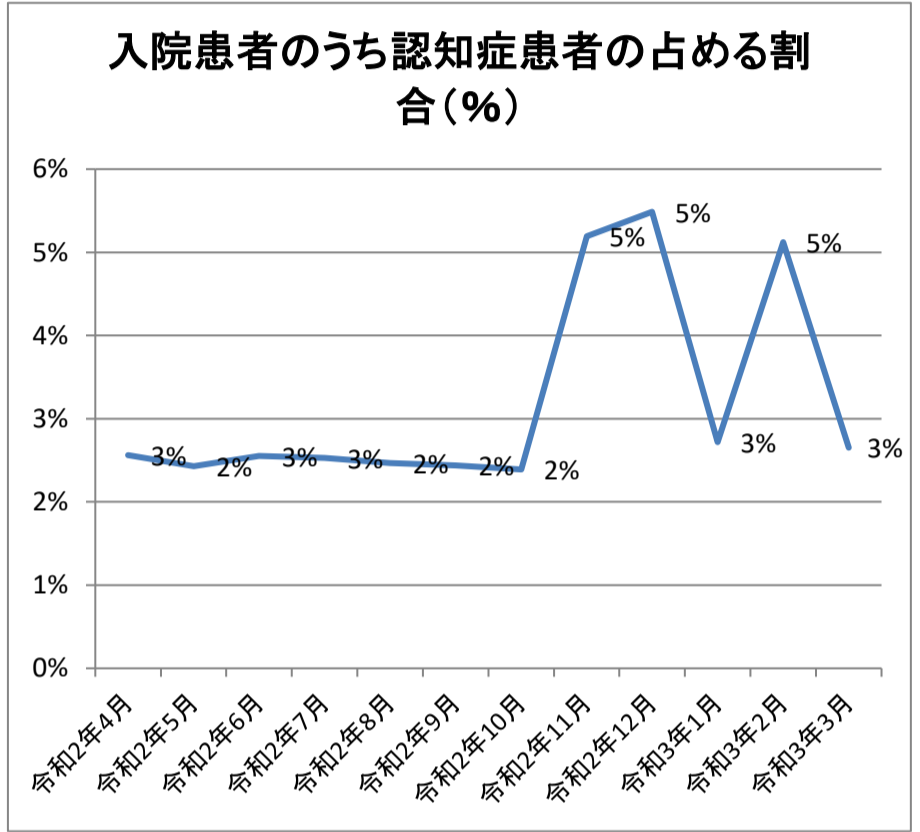
- 【注】
1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
  2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
  3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-3-8

### 認知症患者への対応

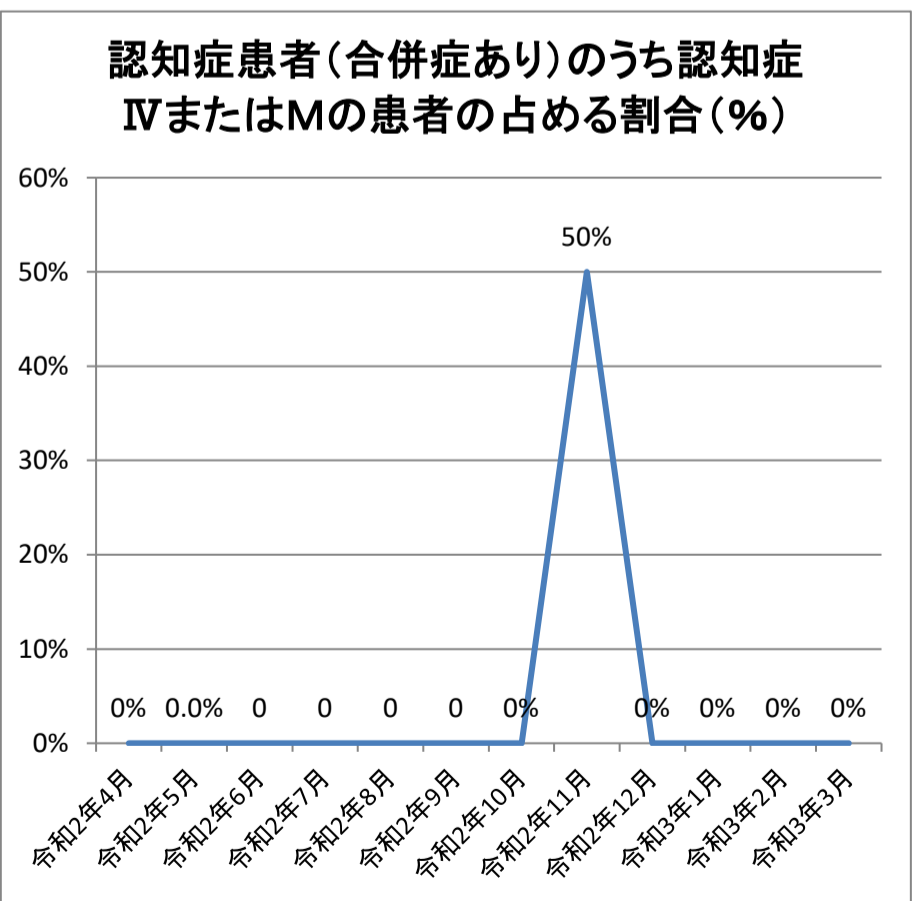
認知症高齢者の日常生活自立度IVまたはMの患者の占める割合 =  $C(\text{認知症IVまたはMの患者数}) / B(\text{平均入院患者数}) \times 100$

令和2年度	平均入院患者数(人) (医療)	認知症IVまたはMの患者数(人)	入院患者のうち認知症患者の占める割合(%)
令和2年4月	39	1	3%
令和2年5月	41	1	2%
令和2年6月	39	1	3%
令和2年7月	40	1	3%
令和2年8月	41	1	2%
令和2年9月	41	1	2%
令和2年10月	42	1	2%
令和2年11月	39	2	5%
令和2年12月	36	2	5%
令和3年1月	37	1	3%
令和3年2月	39	2	5%
令和3年3月	38	1	3%
合計/平均	471	15	3%



重症認知症患者の身体合併症(肺炎・尿路感染症・褥瘡・脱水など)に対する治療が自院で可能である =  $C(\text{分母の中での認知症IVまたはMの患者数}) / B(\text{認知症の身体合併症治療目的の新規入院患者数}) \times 100$

令和2年度	認知症の身体合併症治療目的の新規入院患者数(人) (医療)	分母の中での認知症IVまたはMの患者数(人)	認知症患者(合併症あり)のうち認知症IVまたはMの患者の占める割合(%)
令和2年4月	5	0	0%
令和2年5月	0	0	-
令和2年6月	2	0	0%
令和2年7月	4	0	0%
令和2年8月	4	0	0%
令和2年9月	2	0	0%
令和2年10月	3	0	0%
令和2年11月	2	1	50%
令和2年12月	5	0	0%
令和3年1月	2	0	0%
令和3年2月	5	0	0%
令和3年3月	3	0	0%
合計/平均	37	1	3%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

**領域4【リハビリテーション】**

**【注】**

1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。  
( )内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。
2. 評価は直近で調査できる月とする。

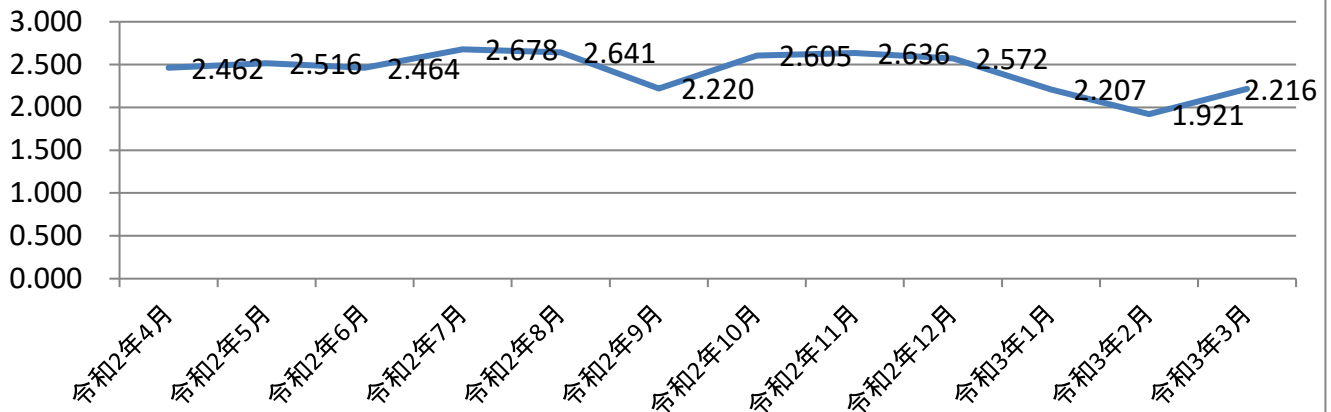
## 2-4-1

### 休日を含め適切な頻度でリハビリテーションが提供されているか

リハビリテーション平均実施率 =  $C(\text{実施対象者における個別療法実施延べ日数}) / B(\text{1日あたりの平均入院患者数}) \div 4$

令和2年度	1日あたりの平均入院患者数(人)	実施対象者における個別療法実施延べ日数(日)	1週間に入院患者1人あたりのリハビリテーション実施日数(日)
令和2年4月	39	384	2.462
令和2年5月	41	414	2.516
令和2年6月	39	386	2.464
令和2年7月	40	424	2.678
令和2年8月	41	428	2.641
令和2年9月	41	364	2.220
令和2年10月	42	436	2.605
令和2年11月	39	406	2.636
令和2年12月	36	375	2.572
令和3年1月	37	325	2.207
令和3年2月	39	300	1.921
令和3年3月	38	334	2.216
合計/平均	39	381	2.430

**1週間に入院患者1人あたりのリハビリテーション実施日数  
(日)**



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

**領域4【リハビリテーション】**

**【注】**

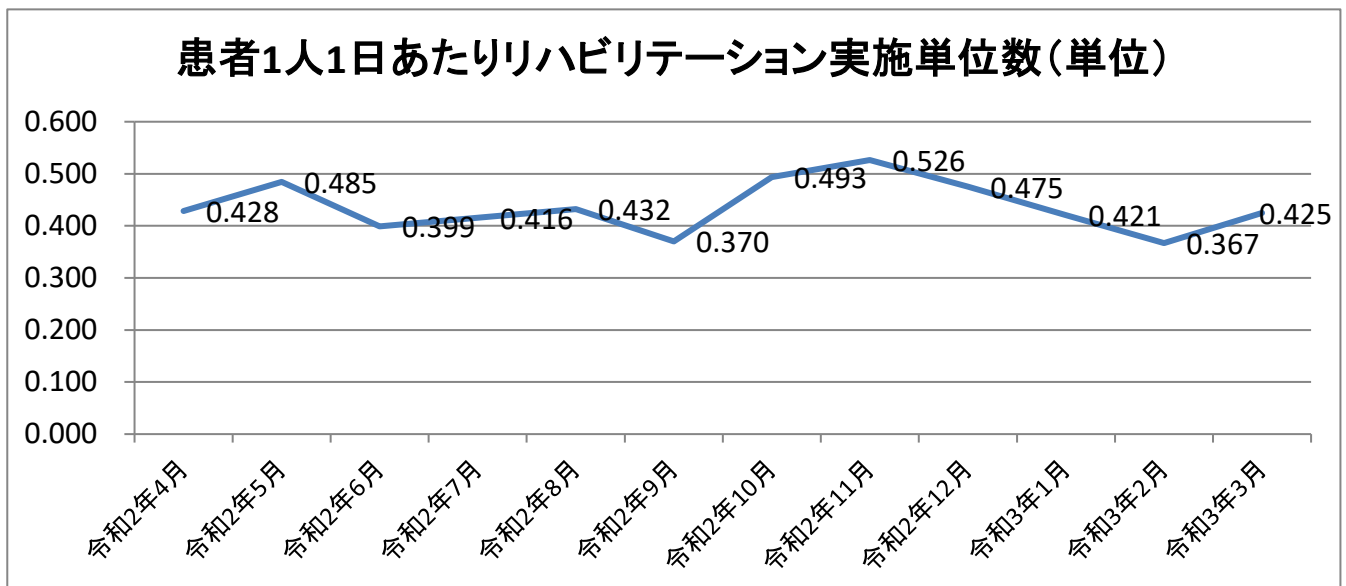
1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。  
（ ）内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。
2. 評価は直近で調査できる月とする。

## 2-4-2

### 十分な時間のリハビリテーションが提供されているか

患者1人1日あたりリハビリテーション実施単位数 =  $D$  (測定月の実施総単位数) /  $C$  (延べ入院患者数)

令和2年度	延べ入院患者数(人)(医療)	測定月の実施総単位数(単位)	患者1人1日あたりリハビリテーション実施単位数(単位)
令和2年4月	1170	501	0.428
令和2年5月	1275	618	0.485
令和2年6月	1175	469	0.399
令和2年7月	1227	510	0.416
令和2年8月	1256	543	0.432
令和2年9月	1230	455	0.370
令和2年10月	1297	640	0.493
令和2年11月	1155	608	0.526
令和2年12月	1130	537	0.475
令和3年1月	1141	480	0.421
令和3年2月	1093	401	0.367
令和3年3月	1168	496	0.425
合計/平均	14317	6258	0.437



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

**領域4【リハビリテーション】**

**【注】**

1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。  
( )内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。
2. 評価は直近で調査できる月とする。

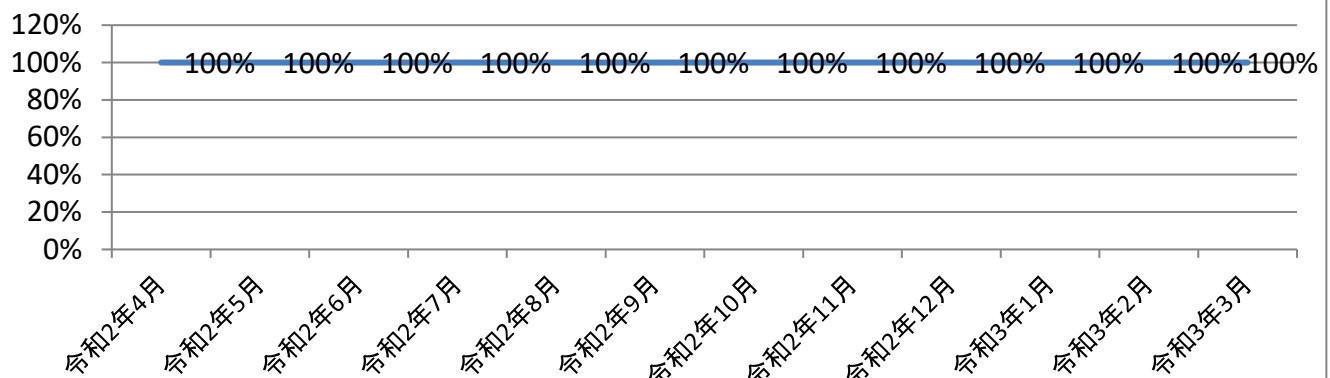
## 2-4-3

### 多職種（リハビリ以外の職種も含めて）によるカンファレンス等にて、 リハビリテーションの内容、頻度が検討されているか

カンファレンス実施率 = C(カンファレンス実施患者数) / B(対象患者数) × 100

令和2年度	リハビリ対象患者数(人)	カンファレンス実施患者数(人)	リハビリテーション対象患者のうちカンファレンス実施率(%)
令和2年4月	37	37	100%
令和2年5月	40	40	100%
令和2年6月	36	36	100%
令和2年7月	38	38	100%
令和2年8月	35	35	100%
令和2年9月	36	36	100%
令和2年10月	39	39	100%
令和2年11月	38	38	100%
令和2年12月	33	33	100%
令和3年1月	24	24	100%
令和3年2月	23	23	100%
令和3年3月	32	32	100%
合計/平均	411	411	100%

### リハビリテーション対象患者のうちカンファレンス実施率 (%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

**領域4【リハビリテーション】**

**【注】**

1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。  
( )内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。
2. 評価は直近で調査できる月とする。

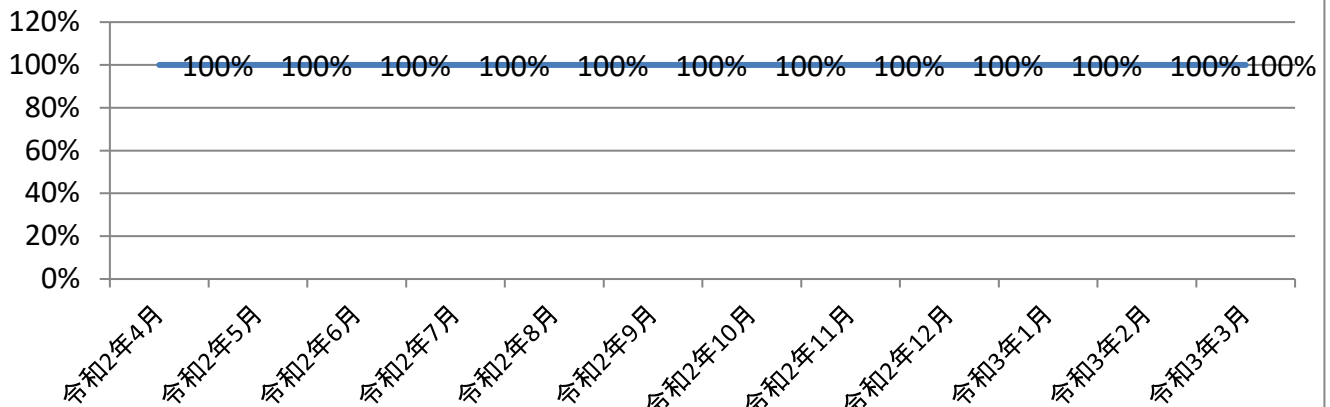
## 2-4-4

### FIM and/or BI等の客観的指標で患者のADL状態が把握されているか

FIM and/or BI等患者のADL把握率 =  $C(1回以上の評価がされている患者数) / B(対象患者数) \times 100$

令和2年度	リハビリ対象患者数(人)	1回以上の評価がされている患者数(人)	リハビリテーション対象患者のうち FIMand/orBI等ADL把握率(%)
令和2年4月	37	37	100%
令和2年5月	40	40	100%
令和2年6月	36	36	100%
令和2年7月	38	38	100%
令和2年8月	35	35	100%
令和2年9月	36	36	100%
令和2年10月	39	39	100%
令和2年11月	38	38	100%
令和2年12月	33	33	100%
令和3年1月	24	24	100%
令和3年2月	23	23	100%
令和3年3月	32	32	100%
合計/平均	411	411	100%

**リハビリテーション対象患者のうち FIMand/orBI等ADL  
把握率(%)**



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

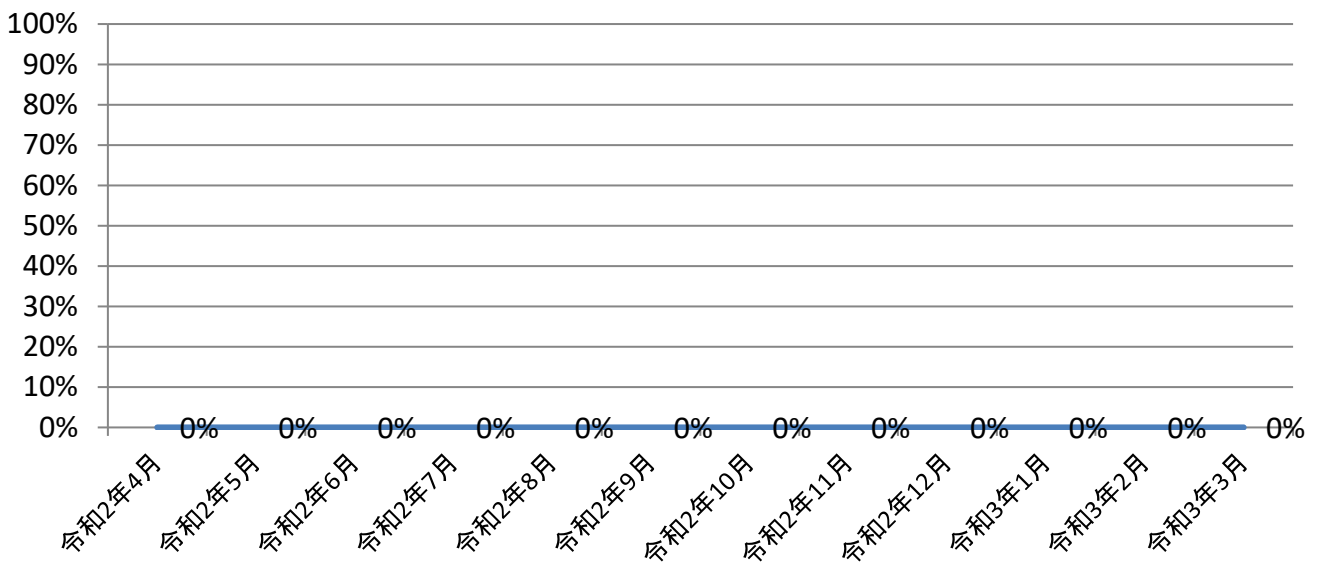
## 2-5-2

### 全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率

検査未実施率 =  $C$  (1ヶ月間に血液検査、尿検査、X-P等のいずれも施行されなかった患者総数 /  $B$  (月末の入院患者数)  $\times 100$

令和2年度	月末の入院患者数(人)	1ヶ月間に血液検査、尿検査、X-P等のいずれも施行されなかった患者総数(人)	全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率(%)
令和2年4月	43	0	0%
令和2年5月	43	0	0%
令和2年6月	38	0	0%
令和2年7月	38	0	0%
令和2年8月	42	0	0%
令和2年9月	39	0	0%
令和2年10月	39	0	0%
令和2年11月	34	0	0%
令和2年12月	35	0	0%
令和3年1月	36	0	0%
令和3年2月	37	0	0%
令和3年3月	33	0	0%
合計/平均	457	0	0%

### 全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

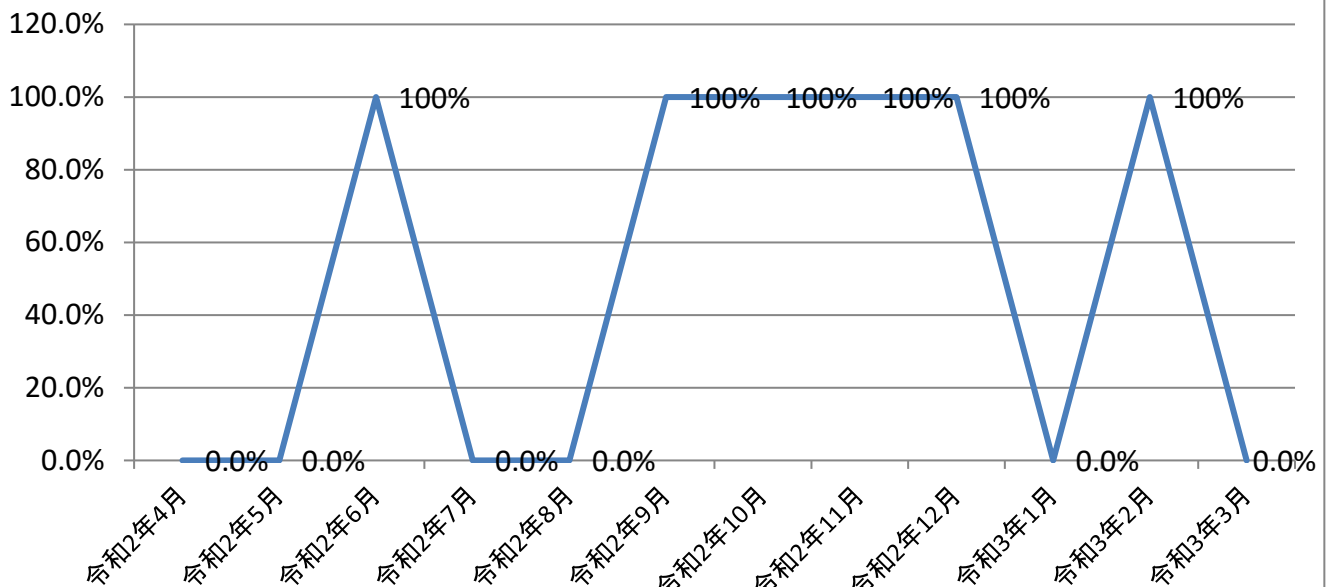
## 2-5-3

### 起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率

細菌培養感受性検査等実施率 = C(起炎菌検索および細菌培養感受性検査の実施件数) / B(新規罹患感染症数) × 100

令和2年度	新規罹患感染症数(人)	起炎菌検索および細菌培養感受性検査の実施件数(件)	起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率(%)
令和2年4月	0	0	-
令和2年5月	0	0	-
令和2年6月	3	3	100%
令和2年7月	0	0	-
令和2年8月	0	0	-
令和2年9月	1	1	100%
令和2年10月	2	2	100%
令和2年11月	1	1	100%
令和2年12月	2	2	100%
令和3年1月	0	0	-
令和3年2月	2	2	100%
令和3年3月	0	0	-
合計/平均	11	11	100%

**起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率(%)**



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator (病棟臨床指標)

**【注】**

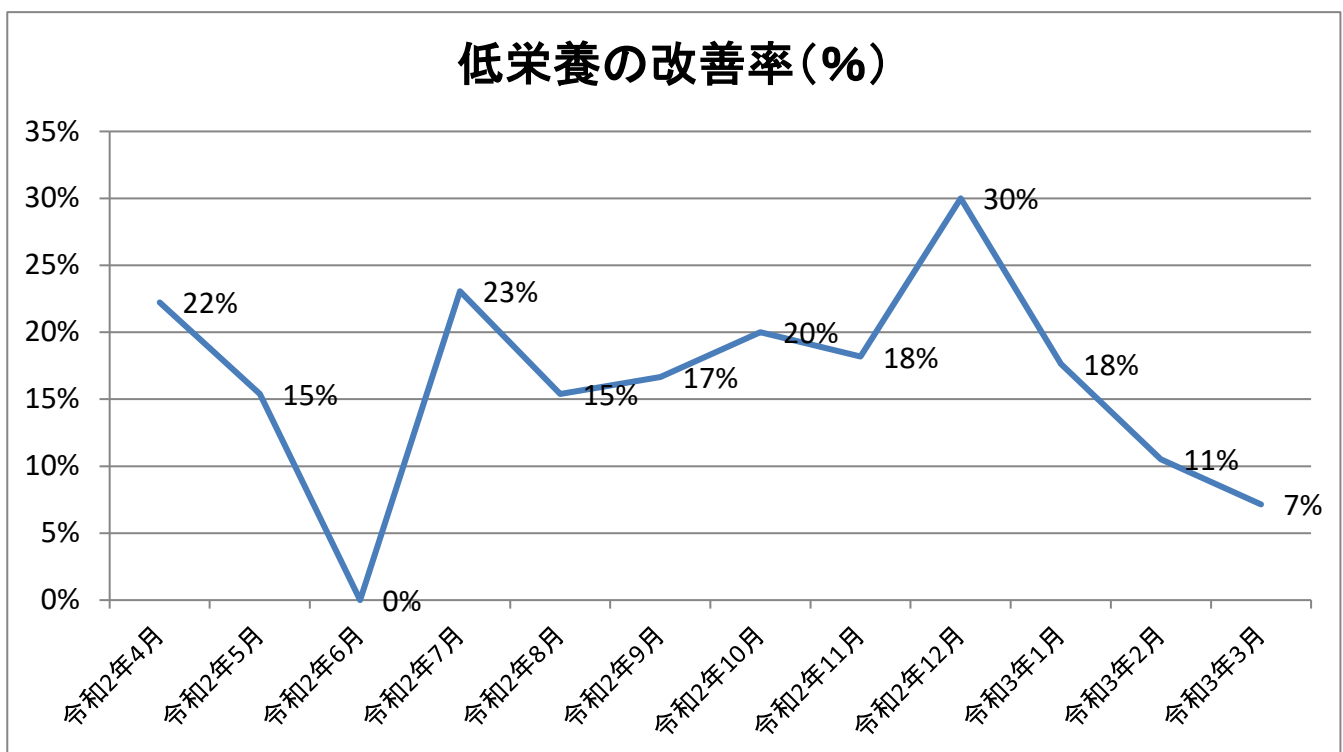
1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-6-5

### 低栄養の改善率

低栄養改善率 = C(2ヶ月以内にアルブミン値が3.0g/dl未満から3.0g/dl以上になった患者数) / B(起点日のアルブミン値が3.0g/dl未満の患者数) × 100

令和2年度	起点日のアルブミン値が3.0g/dl未満の患者数(人)	2ヶ月以内にアルブミン値が3.0g/dl未満から3.0g/dl以上になった患者数(人)	低栄養の改善率(%)
令和2年4月	9	2	22%
令和2年5月	13	2	15%
令和2年6月	16	0	0%
令和2年7月	13	3	23%
令和2年8月	13	2	15%
令和2年9月	18	3	17%
令和2年10月	15	3	20%
令和2年11月	11	2	18%
令和2年12月	10	3	30%
令和3年1月	17	3	18%
令和3年2月	19	2	11%
令和3年3月	14	1	7%
合計/平均	168	26	15%





# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-6-6

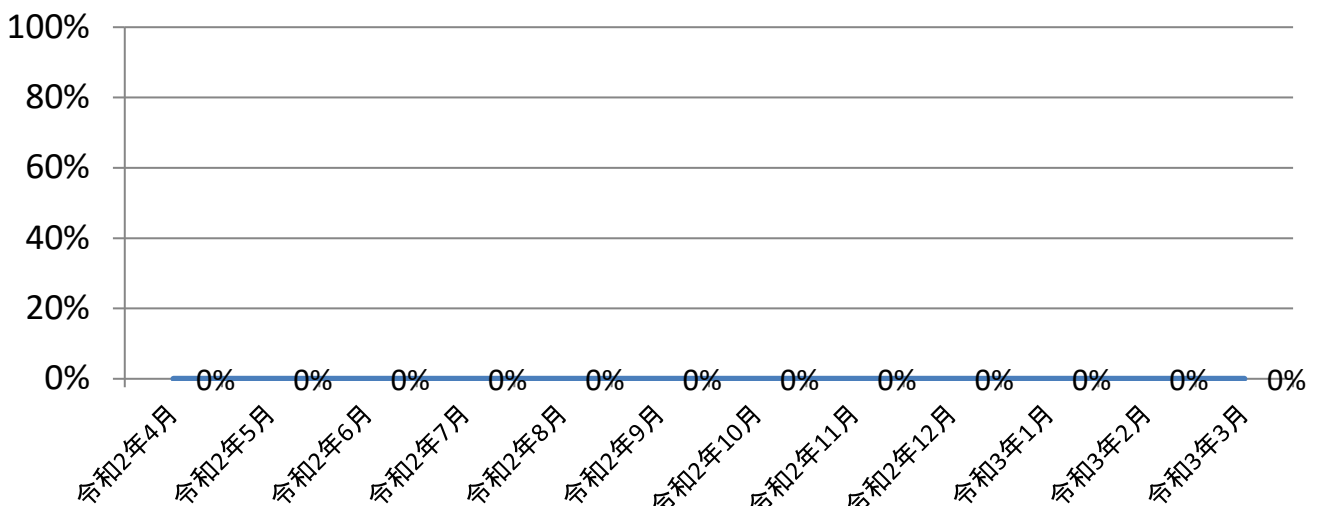
### 1年以内に経管栄養（中心静脈・胃ろう・経鼻）から経口摂取可能になった患者の割合

1年以内に経管栄養から経口摂取可能になった患者の割合＝

$$C(1年以内に完全に経口摂取可能となった患者数) / B(経管栄養患者数) \times 100$$

令和2年度	経管栄養患者数(人)	1年以内に完全に経口摂取可能となった患者数(人)	1年以内に経管栄養から経口摂取可能になった患者の割合(%)
令和2年4月	6	0	0%
令和2年5月	7	0	0%
令和2年6月	10	0	0%
令和2年7月	9	0	0%
令和2年8月	7	0	0%
令和2年9月	8	0	0%
令和2年10月	7	0	0%
令和2年11月	7	0	0%
令和2年12月	8	0	0%
令和3年1月	6	0	0%
令和3年2月	8	0	0%
令和3年3月	8	0	0%
合計/平均	91	0	0%

**1年以内に経管栄養から経口摂取可能になった患者の割合(%)**



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

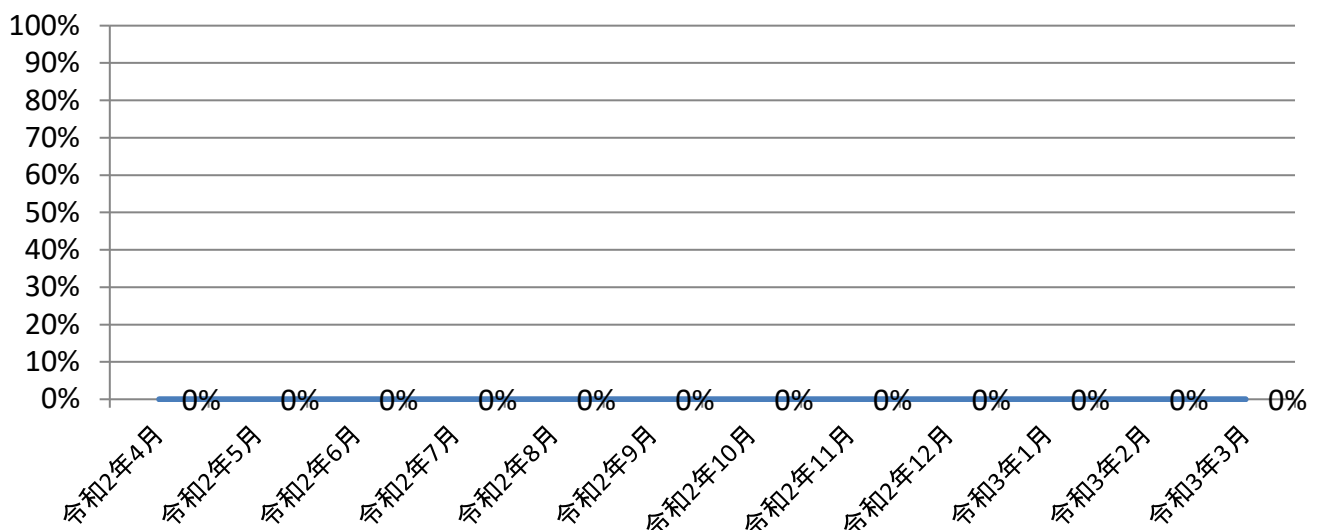
## 2-6-7

### 1ヶ月以内に経管栄養（中心静脈栄養・胃ろう・経鼻）から 少しでも経口摂取が可能となった患者の割合（1口でも可）

C（1ヶ月以内に少しでも経口摂取可能となった患者数）/B（経管栄養患者数）×100

令和2年度	経管栄養患者数(人)	1ヶ月以内に少しでも経口摂取可能となった患者数(人)	1ヶ月以内に経管栄養から少しでも経口摂取可能と患者の割合(%)
令和2年4月	6	0	0%
令和2年5月	7	0	0%
令和2年6月	10	0	0%
令和2年7月	9	0	0%
令和2年8月	7	0	0%
令和2年9月	8	0	0%
令和2年10月	7	0	0%
令和2年11月	7	0	0%
令和2年12月	8	0	0%
令和3年1月	6	0	0%
令和3年2月	8	0	0%
令和3年3月	8	0	0%
合計/平均	91	0	0%

### 1ヶ月以内に経管栄養から少しでも経口摂取可能と 患者の割合(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

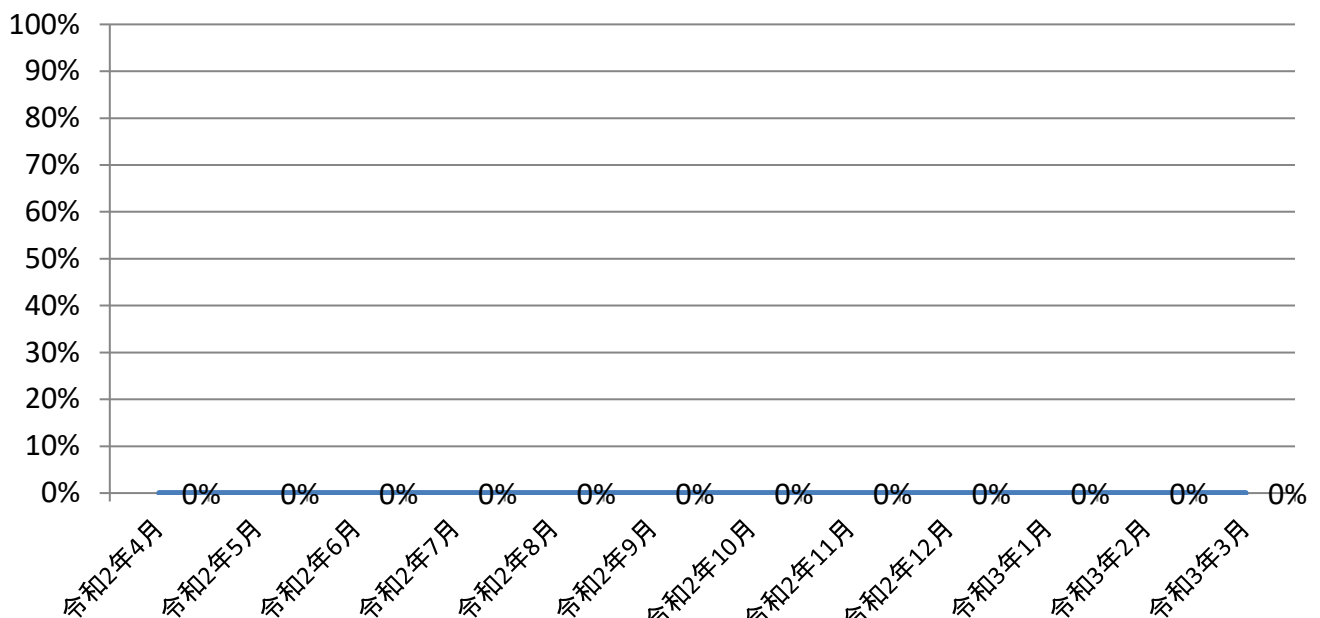
## 2-7-1

### 転倒・転落などによる重症事故（下記の定義）の発生率

重症事故発生率 = C（転倒または転落などによる重症事故の1カ月間の患者数） /  
B（転倒または転落の1ヶ月間の患者数） × 100

令和2年度	転倒または転落の1ヶ月間の患者数（人）	転倒または転落などによる重症事故の1ヶ月間の患者数（人）	転倒・転落などによる重症事故発生率（%）
令和2年4月	1	0	0%
令和2年5月	2	0	0%
令和2年6月	3	0	0%
令和2年7月	1	0	0%
令和2年8月	3	0	0%
令和2年9月	1	0	0%
令和2年10月	0	0	-
令和2年11月	0	0	-
令和2年12月	0	0	-
令和3年1月	2	0	0%
令和3年2月	0	0	-
令和3年3月	2	0	0%
合計/平均	15	0	0%

### 転倒・転落などによる重症事故発生率（%）



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

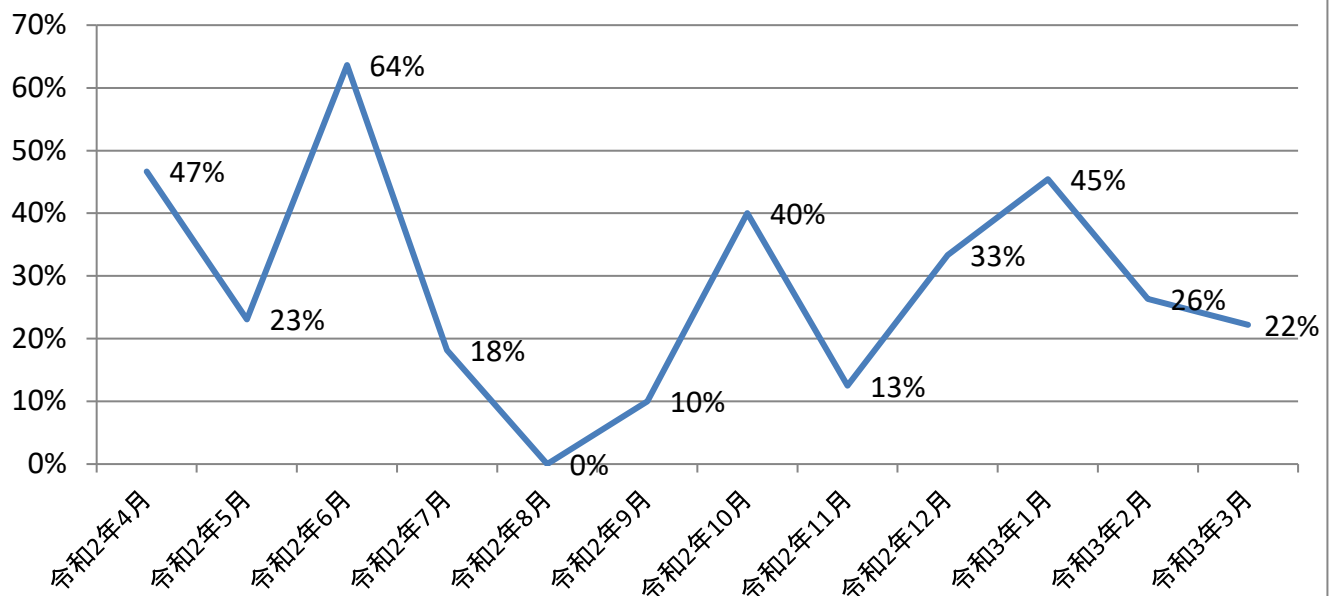
## 2-10-1

### 入院患者のうち急性期病院からの新規紹介入院患者数（紹介率）

新規紹介入院患者率 = C（急性期病院からの紹介入院患者数）/ B（全新規入院患者数） × 100

令和2年度	全新規入院患者数(人)	急性期病院からの紹介入院患者数(人)	急性期病院からの新規紹介入院患者数(紹介率)(%)
令和2年4月	15	7	47%
令和2年5月	13	3	23%
令和2年6月	11	7	64%
令和2年7月	11	2	18%
令和2年8月	11	0	0%
令和2年9月	10	1	10%
令和2年10月	15	6	40%
令和2年11月	8	1	13%
令和2年12月	9	3	33%
令和3年1月	11	5	45%
令和3年2月	19	5	26%
令和3年3月	18	4	22%
合計/平均	151	44	29%

**急性期病院からの新規紹介入院患者数（紹介率）  
（%）**



# 日本慢性期医療協会

## 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

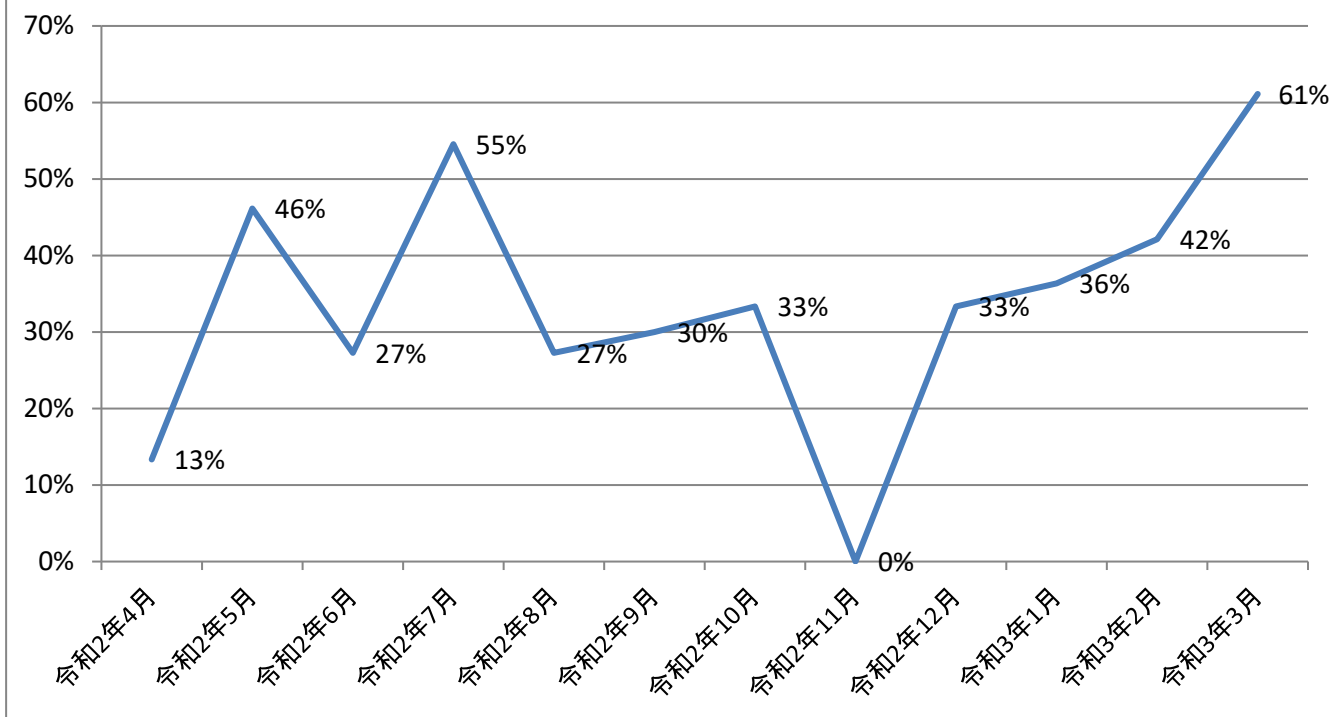
### 2-10-2

#### 在宅からの新規入院患者数（居住系施設等を含む）

在宅からの新規入院患者数 = C（在宅からの新規入院患者数）/ B（全新規入院患者数）× 100

令和2年度	全新規入院患者数（人） （医療）	在宅からの新規入院患者数（人）	在宅からの新規入院患者数（率）（%）
令和2年4月	15	2	13%
令和2年5月	13	6	46%
令和2年6月	11	3	27%
令和2年7月	11	6	55%
令和2年8月	11	3	27%
令和2年9月	10	3	30%
令和2年10月	15	5	33%
令和2年11月	8	0	0%
令和2年12月	9	3	33%
令和3年1月	11	4	36%
令和3年2月	19	8	42%
令和3年3月	18	11	61%
合計/平均	151	54	36%

### 在宅からの新規入院患者数（率）（%）



# 日本慢性期医療協会

## 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

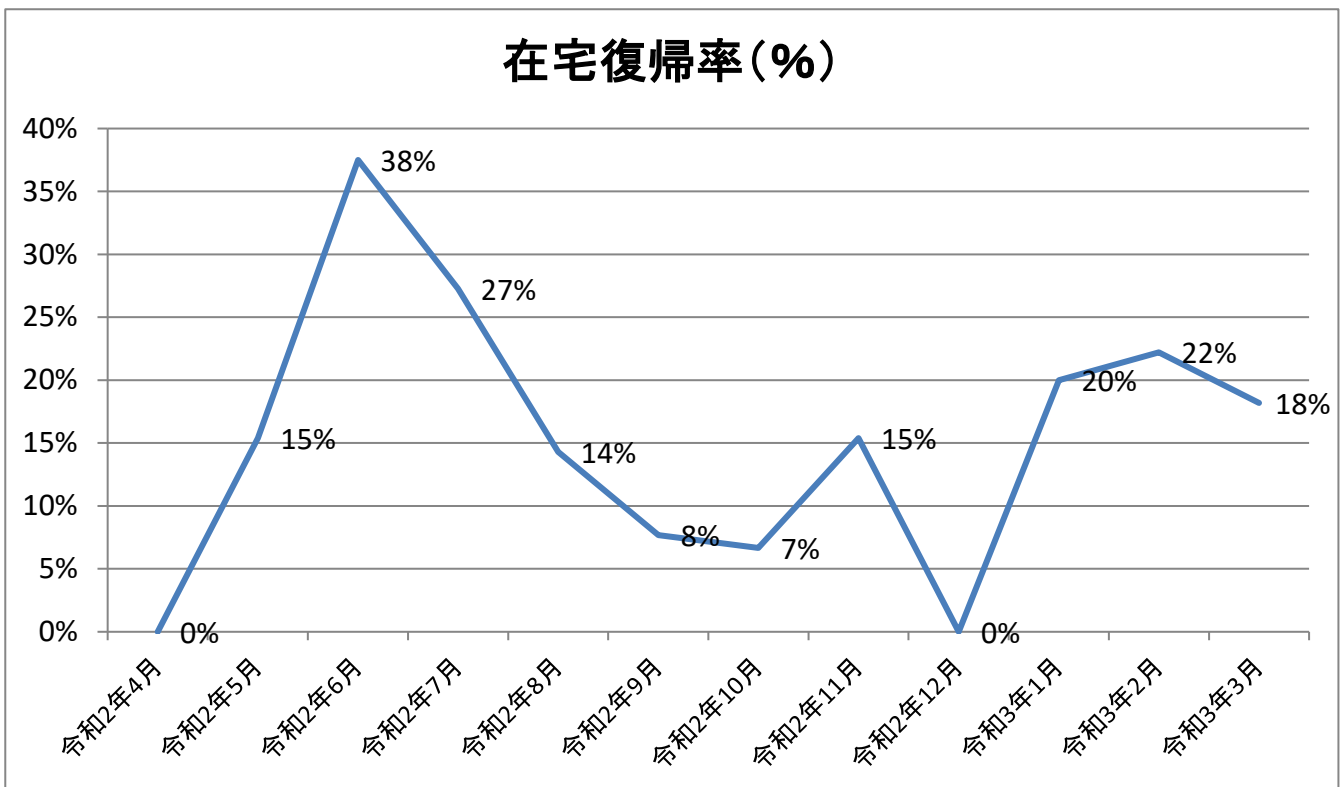
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

### 2-10-3

#### 在宅復帰率（居住系施設等を含む）

在宅復帰率 = C（在宅退院患者数）/ B（全退院患者数（死亡退院を除く）） × 100

令和2年度	全退院患者数(人) (医療)	在宅退院患者数(人)	在宅復帰率(%)
令和2年4月	6	0	0%
令和2年5月	13	2	15%
令和2年6月	16	6	38%
令和2年7月	11	3	27%
令和2年8月	7	1	14%
令和2年9月	13	1	8%
令和2年10月	15	1	7%
令和2年11月	13	2	15%
令和2年12月	8	0	0%
令和3年1月	10	2	20%
令和3年2月	18	4	22%
令和3年3月	22	4	18%
合計/平均	152	26	17%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-10-4

### 多職種による退院カンファレンスを実施しているか

カンファ実施率 = C(5職種以上の退院カンファレンスを実施した患者数) / B(全退院患者数) × 100

令和2年度	全退院患者数(人)	カンファ実施患者数(人)	多職種カンファ実施率(%)
令和2年4月	6	0	0%
令和2年5月	13	1	8%
令和2年6月	16	2	13%
令和2年7月	11	1	9%
令和2年8月	7	1	14%
令和2年9月	13	0	0%
令和2年10月	15	3	20%
令和2年11月	13	4	31%
令和2年12月	8	2	25%
令和3年1月	10	1	10%
令和3年2月	18	0	0%
令和3年3月	22	0	0%
合計/平均	152	15	10%

